



あけましておめでとうございます。

今年は丁酉（ひのととり）です。同じ年にあったことを調べてみました。<1777年>1月アメリカ独立戦争：プリンストンの戦い。<1837年>10月徳川家慶が征夷大将軍に就任。<1897年>8月日本勧業銀行（後のみずほ銀行）創立。<1957年>1月日本の南極越冬隊が南極大陸初上陸。5月コカ・コーラ、日本での販売を開始。10月初の五千円紙幣（聖徳太子の肖像）発行。12月百円硬貨発行。などなど沢山のことがありました。

さてさて、今年はどうなる年になるでしょう？



菌を人の大きさに換算すると…



東海大学教授（食品衛生学）の小沼博隆先生のお話

まな板には包丁で出来た溝が無数にある。その深さは細菌を人間の大きさに換算すると約1kmに相当し多くの細菌が潜んでいる。食中毒菌は、温度・繁殖時間・水分・栄養の4つの条件がそろって爆発的に増えます。食材は冷蔵庫に入れて温度管理を徹底して下さい。殺菌には熱湯消毒がもっとも効果的と言われています。 ※2007年6月24日 信濃毎日新聞より

※傷がたくさんあるまな板は買い換えを検討して下さい。



三輪谷俊夫医学博士（故人）のお話

手の平のしわや指紋は細菌の格好の隠れ家で、細菌にとって指紋の谷間は人間が富士山の谷間にいるのと同じサイズです。

手洗いは食品衛生の基本です。信州の水道水は冷たいので出来れば適温で洗える装置になっていると良いですね。

また、ノロウイルスの直径は約35ナノメートル（1ナノメートルは100万分の1ミリメートル）例えば、ノロウイルス1個をピンポン玉の大きさにたとえると・・・

食中毒菌サルモネラは、軽自動車と同じ大きさ。人間の大きさは、本州とおなじ大きさとなります。それくらいノロは小さいんです！

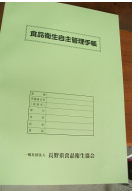
自習管理手帳が大幅リニューアルしました～



50ページから62ページになり数年ぶりに大幅リニューアルされています。1冊350円税込みで、もよりの食品衛生協会にて販売中です。（色は変わってなくて黄緑色です）

長野県衛生部 16食環第282号通達 （自主管理手帳の後ろに載ってます） 一部省略
飲食店営業施設において提供する調理加工食品については、年6回の自主検査（簡易検査法含む）を実施し、その内1回以上は**専門機関等**の検査を活用するなど、その検査の正確度を確保するように指導すること。

検査項目については、食品の特性を考慮し検査するよう指導すること。



おおよそ、保健所では上記にもとづいて 現場指導しています。

そのため年5回のサンコリテップを最低実施し、年1回は**専門機関**（←ここに**食品衛生協会や当社などが入ります**（^-^））で1品でも 良いので検査することが望ましいと言われます。項目については通常は3項目（食中毒菌を入れた方が良いというのが保健所指導）ですが、一・大の2項目（期限検査も含む）で実施しているところも少なくありません。

一般社団法人食品衛生協会と保健所は一緒ではありません。

当社で食品検査をしても食品衛生協会から検査のご案内があると、保健所と勘違いをして、どうしても検査をしないではいけなくて誤解をしている人がいます。当社で食品検査をしていれば、上記の長野県からの通達はクリアしているので大丈夫です。その費用分で、アルコールなど購入出来ます！



【編集後記】

「本に囲まれている空間が好き」ということもあり、最低でも週に1回は書店に足を運びます。1日中読んでいても苦にならない程 読む事も好きなのですがペースが遅く、それなのに次から次へと購入してしまうため我が家は私の本で溢れかえっている状況です。私にとってはとても幸せな環境ですが。。ゆくゆくは個人図書館でも開設しようかと密かに思案しています。今年の抱負ならぬ将来の抱負（夢??）を語ったところで新年のご挨拶を。
本年も宜しくお願い致します。 検査室 木次明子

前向きな姿勢と積極的な行動で お客様に感動をあたえよう！

衛生検査所登録79号 株式会社信濃公害研究所

松本 0263-36-5075 長野 026-214-2679 佐久 0267-56-0123